

交人知愛

登米市耕人塾
塾長のつばやき
第3期 第4号
令和5年10月3日
文責 千葉和彦

～ 佐沼ロータリークラブから学んだこと～

「自分の幸せ」を「人々の幸せ」のために

9月21日 ロータリークラブの例会の中で「登米耕人塾」の活動を紹介する機会に恵まれました。

佐沼ロータリークラブ(千葉正宏会長)は、各業界ではトップクラスの方々の集まりです。コンセプトは「世界に希望を生み出そう」だそうです。「世界を変える行動人となろう」という合言葉のもとに、自分たちの資質を高め合う姿勢は素晴らしいと感じました。そして最もすごいのは社会貢献の実践力！！

青少年健全育成のための企画を応援したり、長沼フットピア公園周辺の清掃活動を実践しています。

ロータリークラブ会員が諸活動に取り組む実践報告を聞いていると、ただただ素晴らしいという気持ちで圧倒されました。

会社や店舗、会社、医院、お寺などを運営するトップともなると、こうしたオーラがにじみでてくるのだなあ！と感じました。

自分たちの利益のためだけではなく、社会貢献しながら自分たちを高めようとする姿に鳥肌が立つ思いでした。

そんな方々の前でスピーチするのですから緊張感も半端ではありません。まとまりのない話ではありましたが、なんとか登米耕人塾のPRと活動内容を説明することができました。

その後、多くの方々から協賛金という形で耕人塾の活動をサポートしていただきました。ホームページに掲載したいと思います。

佐沼ロータリークラブの皆さんに心から御礼を申し上げます。

塾生がいずれの日にか佐沼ロータリークラブの皆さんのように、世界を変えるような人間力を身につけ、この登米地区から未来に発信し、人々の幸せを築いていく大人に成長できるよう、耕人塾スタッフ一同 襟を正して青少年の育成のために尽力してまいります。